

出 会 い の 森

玉津小学校便り No. 2

(令和2年5月7日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

大切にしてほしい『命を守る行動』、『規則正しい生活』、『本を読む』こと

校長 坂元 裕則

新学期に入り、臨時休校となって約1か月。いつもと同じように時間が過ぎていけば、毎日学校で子どもたちの元気な姿を見ることができ、「〇〇さん、すごくがんばったね!」とか「〇〇さん、あともう少しだよ。がんばれ!」など褒めたり、励ましたりする言葉を一人ひとりの顔を見ながら伝えることもできていたはずですが、しかし、今は世界中に拡大する新型コロナウイルス感染の影響で、すべての人たちが、いつもと同じ生活ができない状況となっています。先日、臨時休校が5月31日まで延長され、学校再開の日がまた遠くに離れてしまいました。残念な思いをした人も多かったはずですが、私もその一人ですが、今、私たちが一番大切にしなければならないことは『命を守る行動』であることを忘れてはなりません。今までに経験したことがないこの状況は、まだまだ先が見えず、それぞれに不安もあります。一人ひとりが『命』を一番大切にす行動を心がけることが、終息に近づく早道であると信じています。

また、長引く臨時休校において、子どもたちの家庭での過ごし方が学校再開後の生活に影響してくるかと思われます。各ご家庭では、いろいろと苦勞されていることと存じますが、とりわけ『規則正しい生活』ができるように、家族全員で協力し合って取り組めるようにお願いします。毎朝、親子でウォーキングやランニングに取り組まれている本校のご家族を見かけますが、楽しそうに話をしながら取り組む姿は「体」も「心」もプラスになっているような気がします。学校が再開してから、できるだけ早く学校生活中心のリズムに順応できるよう、各ご家庭で規則正しい生活習慣を心がけてください。

あと、読書についてお話をします。4月23日から5月12日までの期間は「こどもの読書週間」と定められています。子どもたちが本に親しんでくれることを願い設定された取り組みですが、この臨時休校中は自由な時間がたくさんあり、本をじっくり読めるチャンスです。自分の好きな本でよいので、「ステイホーム」＝「自宅で過ごす」中で時間を有効に使い、ぜひとも『本を読む』ことにチャレンジしましょう。読書は知識や思考力、想像力が豊かになり、生き方や学習にも好影響を与えます。こどもの読書週間は12日までですが、期間にかかわらず、積極的に本を読んでもください。

私は時々、教室に行きます。静かな教室の中から「早く学校再開の日が来てほしい」、「みんなと勉強したり、遊んだりしたい」という声が聞こえてくるような気がします。また、外を見ると、校庭に色鮮やかな花が咲き、まるで子どもたちを待っているかのように見えます。再び、この学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻る日を楽しみにしています。

